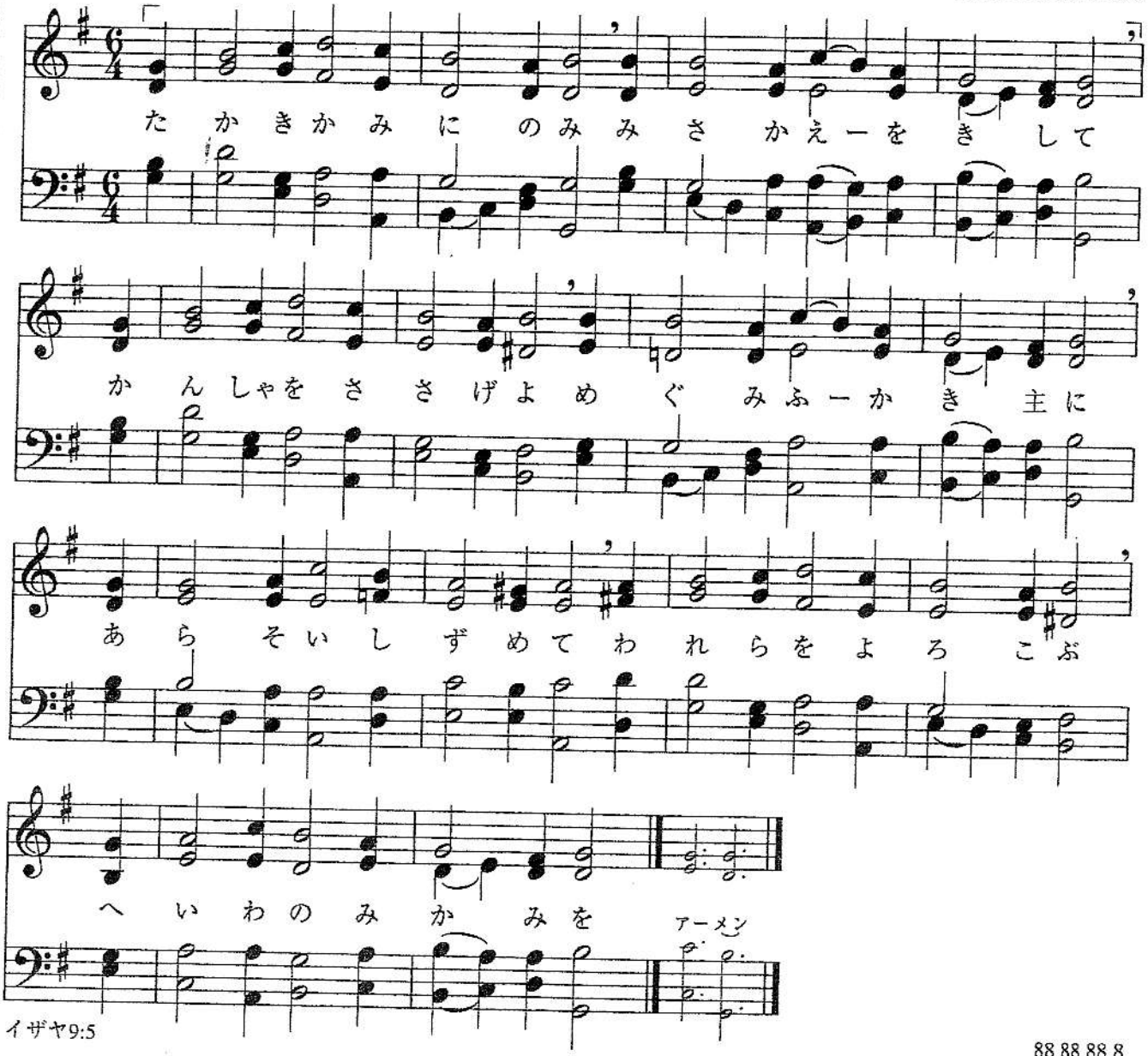
78 高き神にのみ

Allein Gott in der Höh sei Ehr
Nikolaus Decius, c. 1522

ALLEIN GOTT IN DER HÖH
Nikolaus Decius, c. 1525



イザヤ9:5

88 88 88 8

1. 高き神にのみ　み栄えを帰して
感謝を捧げよ　恵み深き主に
争いしずめて　われらを歓ぶ
平和のみ神を

2. 父なるみ神よ　われらほめたたえん
み心なしとげ　永久に統べたもう
力と知恵とは　計りも知られぬ
あがむべきわが主

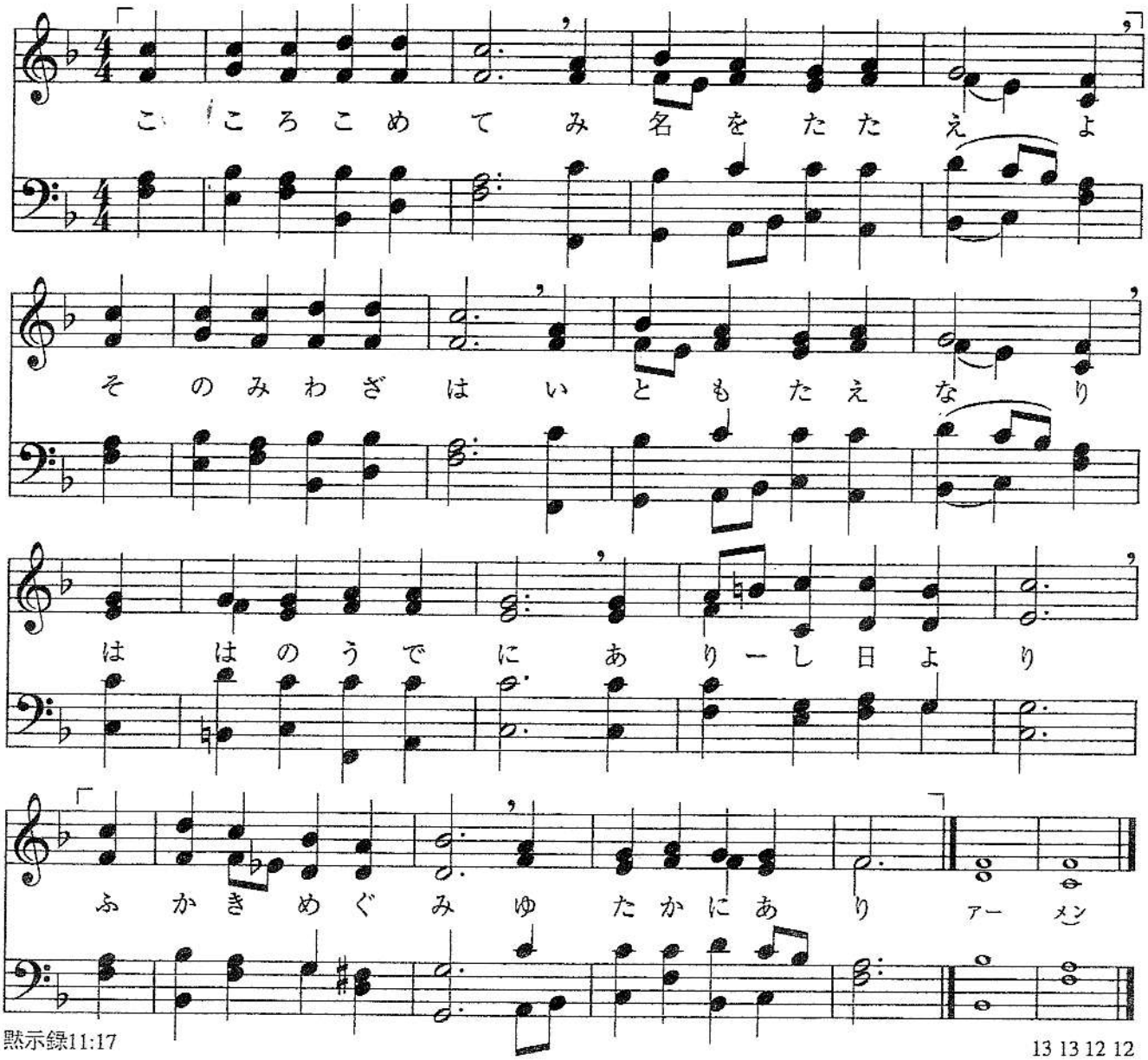
3. み子なるキリスト　和解の小羊
失われしもの　あがないたまえり
苦しき願いを　受けとめたまえや
聖なるみ神よ

4. 慰めぬしなる　聖霊の神よ
悪しき力より　守らせたまえや
苦難のときにも　われらと共なる
頼れるみ神よ

85 心込めてみ名をたたえよ

Nun danket alle Gott
Martin Rinckart, 1636

NUN DANKET ALLE GOTT
Johann Crüger, 1647



黙示録11:17

13 13 12 12

1. 心込めて　み名をたたえよ
そのみわざは　いとも妙なり
母のうでに　在りし日より
ふかき恵み　ゆたかにあり

2. 主はこの世を　統べ治めたもう
よろずのもの　ただ主にたよる
み使いらは　琴をならし
主のみ栄え　たたえうたう

3. 主はゆたかに　糧をあたえて
父のごとく　みちびきたもう
雨をそそぎ　地をうるおし
あふるる愛　われをかこむ

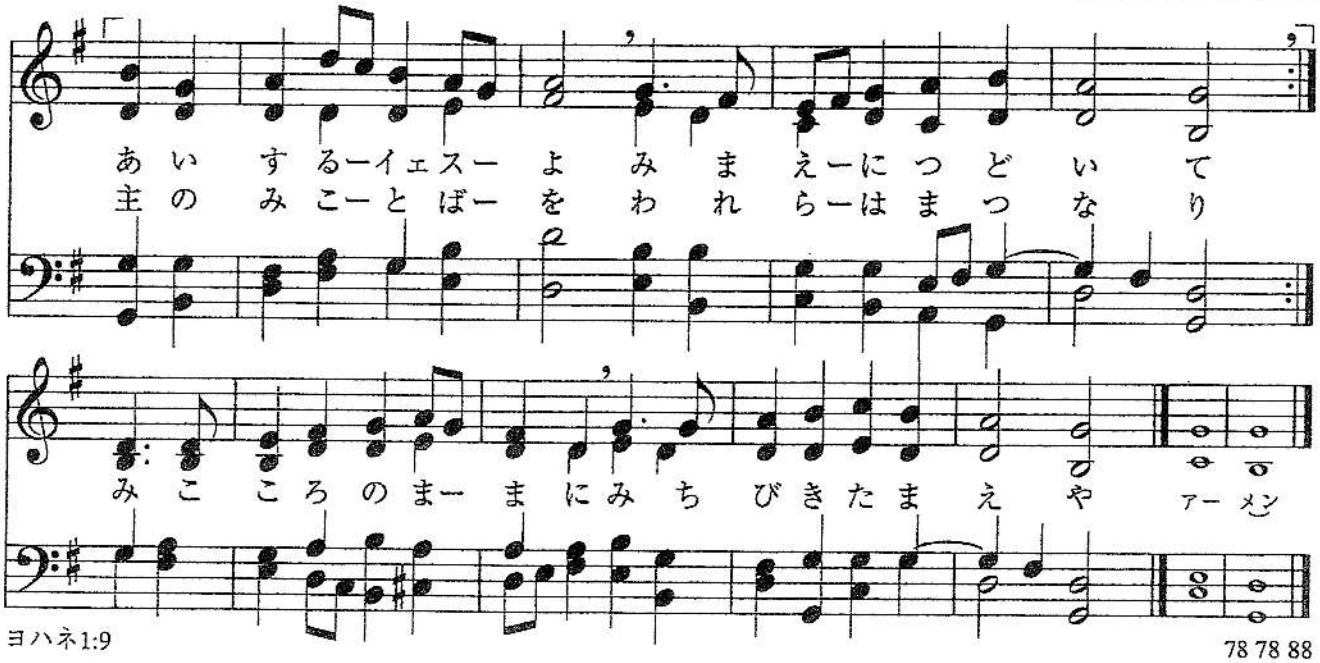
4. 恵みふかき　主をほめまつらん
すべての民　み名をたたえよ
仇は失せて　うれいはなし
主の恵みを　いまよろこべ

Tr. © 日本福音ルーテル教会教会讃美歌委員会

135 愛するイエスよ

Liebster Jesu, wir sind hier, dich und dein Wort anzuhören
Tobias Clausnitzer, 1663

LIEBSTER JESU, WIR SIND HIER
Johann Rudolf Ahle, 1664
Arr. Wolfgang Carl Briegel, 1687



ヨハネ1:9

78 78 88

1. 愛するイエスよ　み前に集いて
主のみ言を　われらは待つなり
み心のままに　導きたまえや

2. われらの知恵と　われらの理解は
光を知らず　暗きにおおわる
真理の光を　主よ照らしたまえ

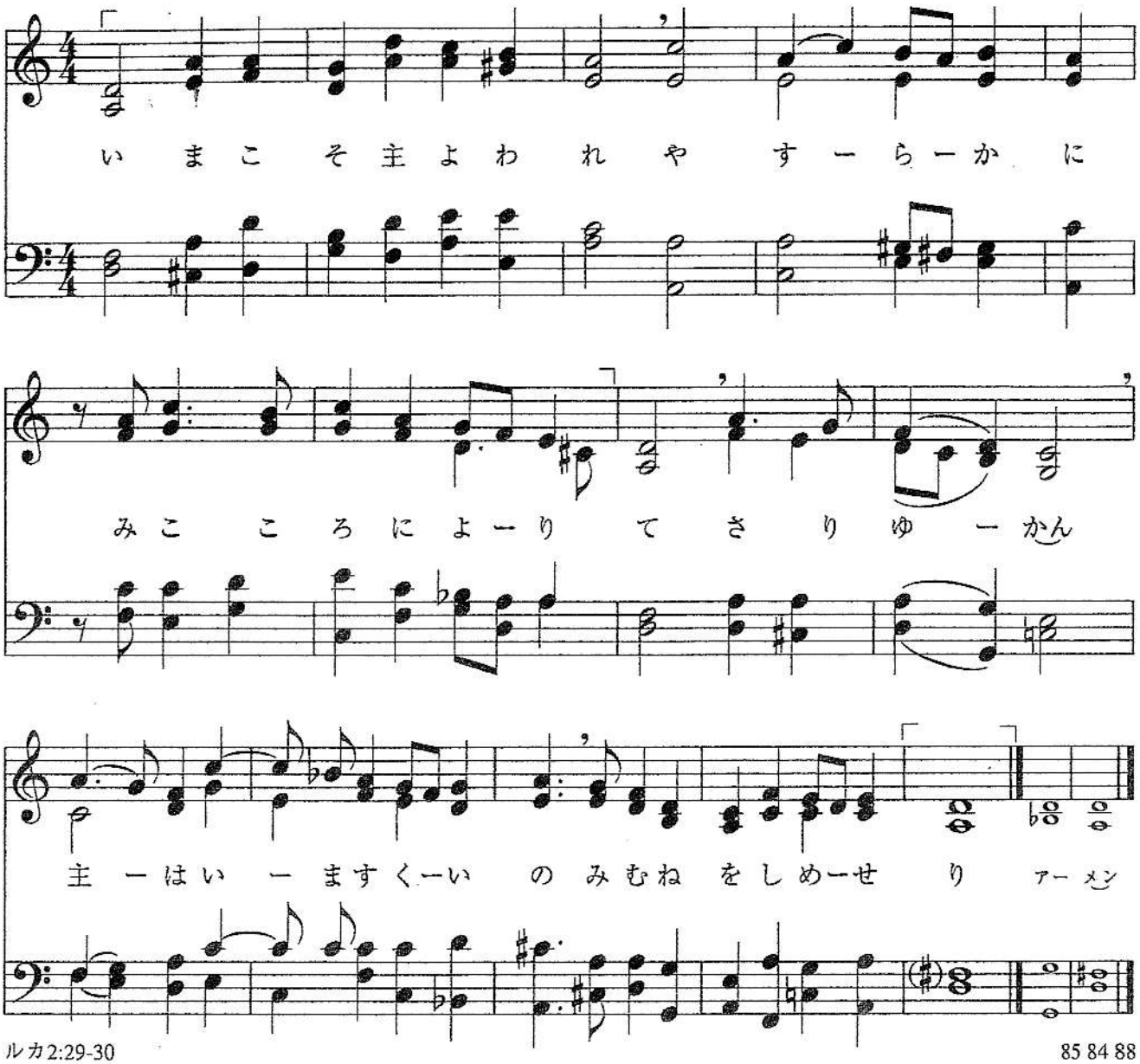
3. み神の光　栄光の輝き
ただ主に頼り　われらはみな受けん
祈りと賛美は　みな主にあれかし

Tr. © 2003 日本バプテスト連盟

144 今こそ主よわれ安らかに

Mit Fried und Freud ich fahr dahin
Martin Luther, 1524

MIT FRIED UND FREUD ICH FAHR DAHIN
Martin Luther, 1524
Adapt. Johann Walter, 1524



ルカ2:29-30

85 84 88

1. 今こそ主よわれ　安らかに
　み心によりて　去りゆかん
　主は今救いの　み旨を示せり

2. み子なるキリスト　救い主
　人のかたちとり　来りぬ
　救いと生命の　主をわれは見たり

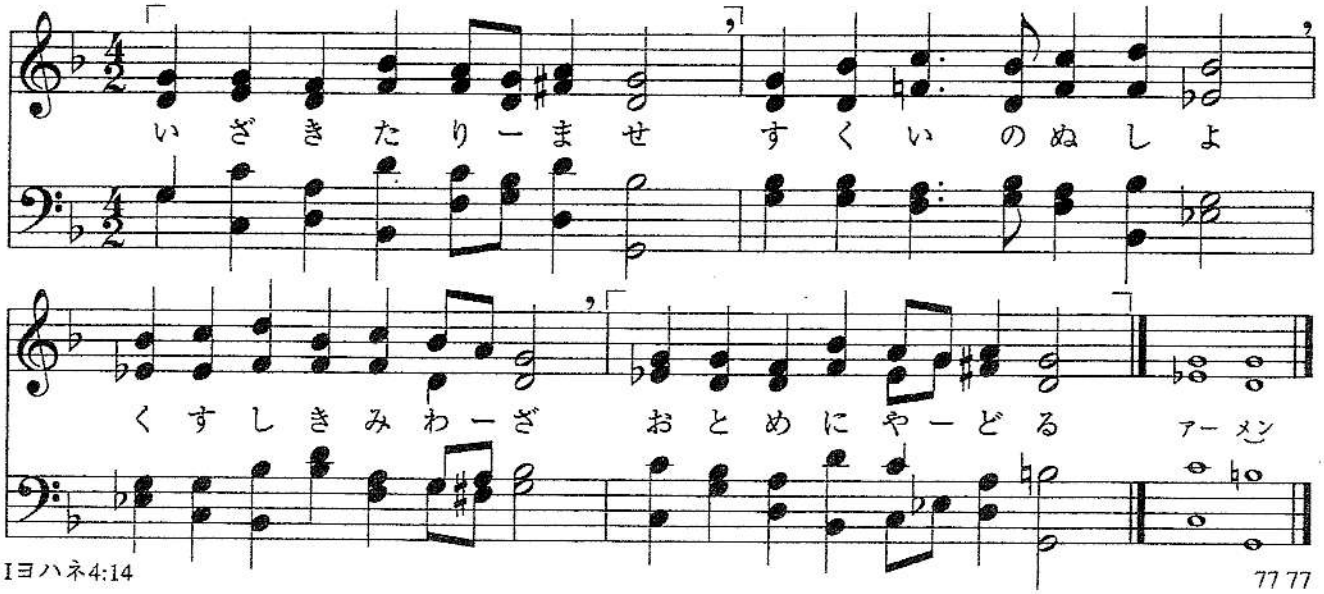
3. 大いなるみ恵み　主は備え
　救いのみ業を　賜いぬ
　われらをみ国に　主イエス招きたもう

4. 主を知らぬ民を　照らしたもう
　啓示の光の　主にます
　誉れと栄光　賛美主にのみあれ

156 いざ来りませ

Nun komm, der Heiden Heiland
Ambrosius von Mailand, c. 386
Tr. Martin Luther, 1524

NUN KOMM, DER HEIDEN HEILAND
Martin Luther, 1524



Iヨハネ4:14

77 77

1. いざ来(きた)りませ　救(すく)いの主(ぬし)よ
くすしきみ業(わざ)　おとめに宿(やど)る

2. み子(こ)なるイエスは　神(かみ)のもとより
この世(よ)に降(くだ)り　人(ひと)となりたもう

3. 神(かみ)より出(い)でて　われらと歩(あゆ)み
陰府(よみ)まで降(くだ)り　天(てん)に帰(かえ)りぬ

4. イエスのまぶねは　新(あら)たな光(ひかり)
暗闇(やみ)を退(しりぞ)け　われらを照(て)らす

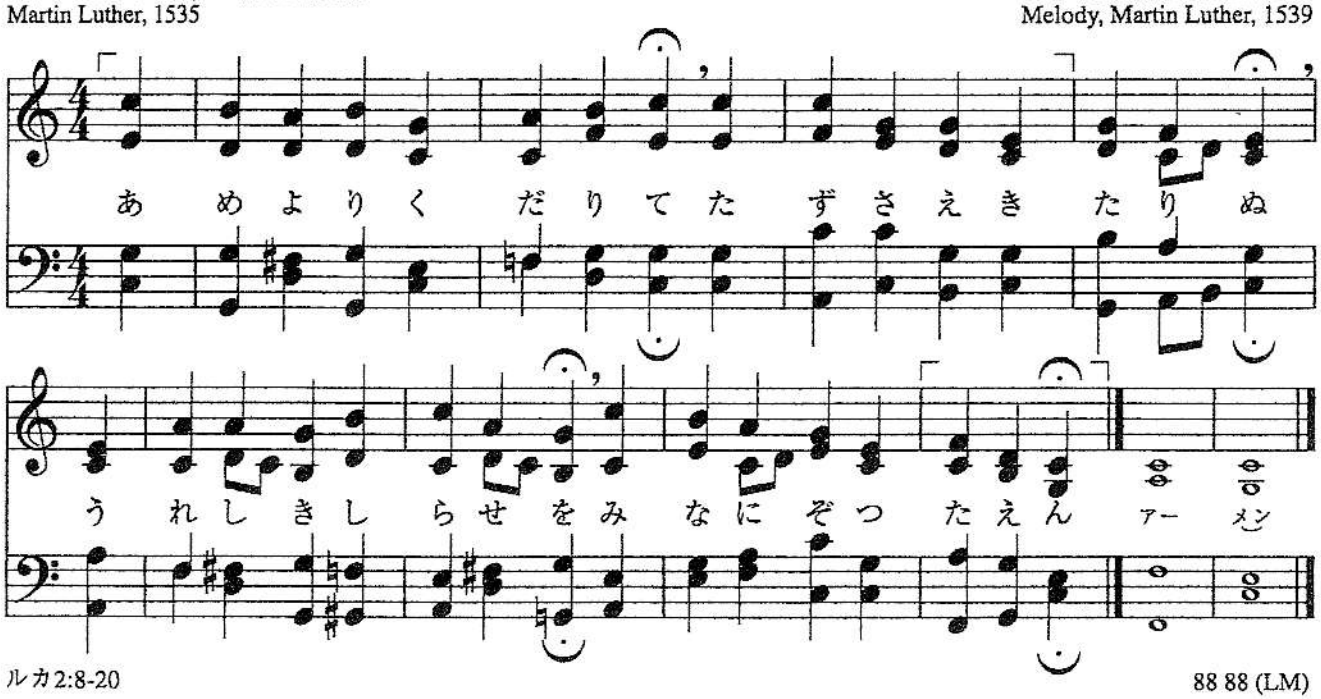
5. 父(ちち)なる神(かみ)に　み子(こ)なる神(かみ)に
聖霊(みたま)の神(かみ)に　み栄(さか)えあれや

Tr. © 2003 日本バプテスト連盟

182 天より降りて

Vom Himmel hoch, da komm ich her
Martin Luther, 1535

VOM HIMMEL HOCH
Melody, Martin Luther, 1539



ルカ2:8-20

88 88 (LM)

1. 天より降りて　たずさえ来りぬ
嬉しき知らせを　皆にぞ伝えん

2. みどり児生まれぬ　選びのおとめに
歓び与える　優しき神の子

3. 彼こそキリスト　主にして神の子
われらを救いて　罪より清める

4. 父なるみ神が　備えし祝福
もたらしたまいて　永久に生かしむ

5. しるしのまぶねは　貧しくあれども
世界を担える　み子をば見出す

6. 喜び溢れて　牧者に伴い
み神が賜いし　みどり児たたえん

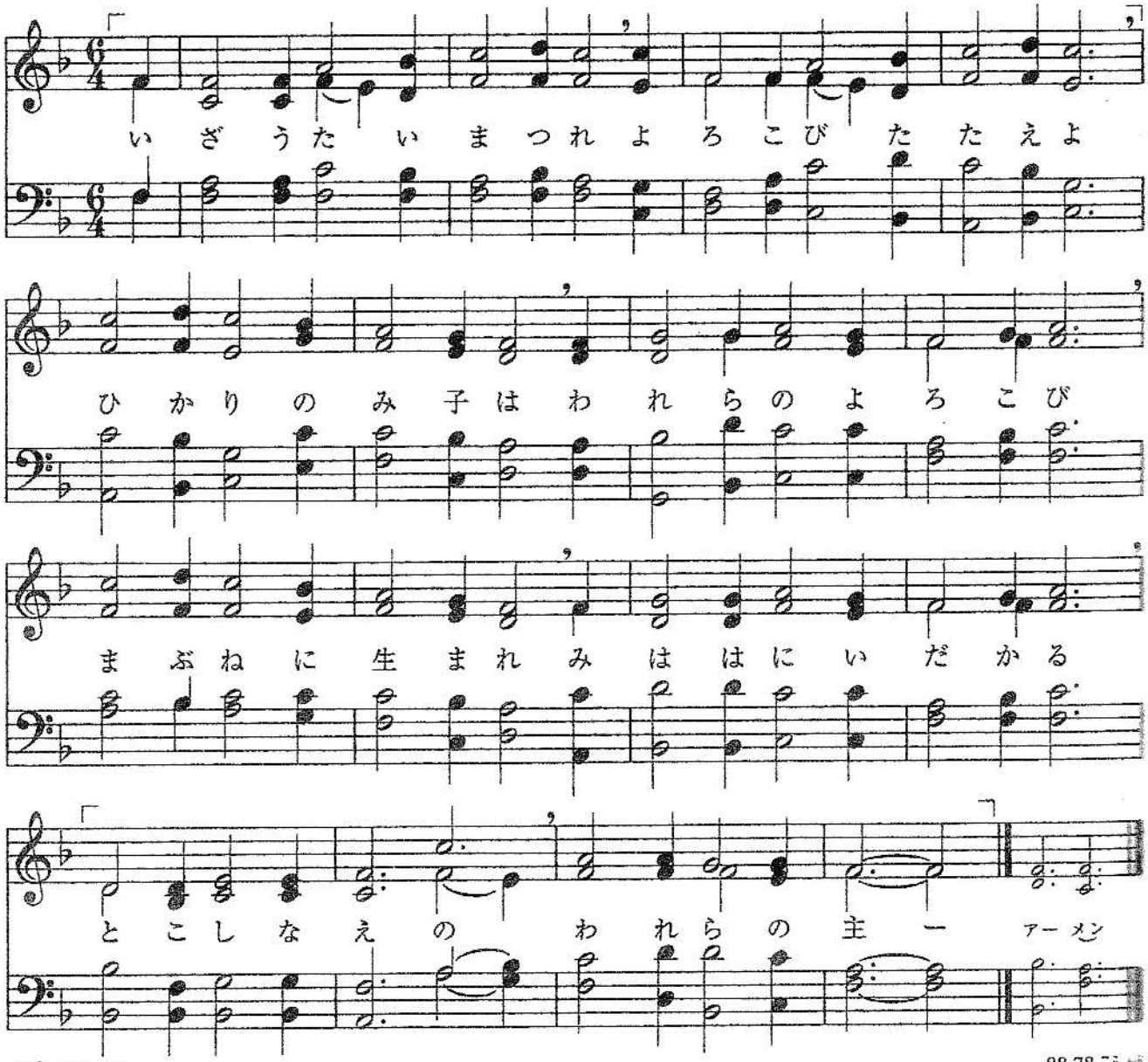
7. 栄光誉れは　み神にあれやと
み使いたたえん　新しき年も

Tr. © 1999 日本バプテスト連盟

187 いざ歌いまつれ

Nun singet und seid froh
Latin-German carol, c.1400

IN DULCI JUBILO
Traditional German carol, 14th cent.



ルカ 1:78-79

88 78

1. いざ歌いまつれ 喜びたたえよ
光のみ子は われらの喜び
まぶねに生まれ み母に抱かる
永遠の われらの主

2. 久しく待ちにし われらを慰む
きよく優しき 幼きみ子イエス
慈しみもて 導きたまいて
みそば近く 招きませ

3. 独り子たまいし 神の深き愛
罪とがのゆえ 迷いしわれらを
永久のみ国へ 導き行きたもう
神の恵み 限りなし

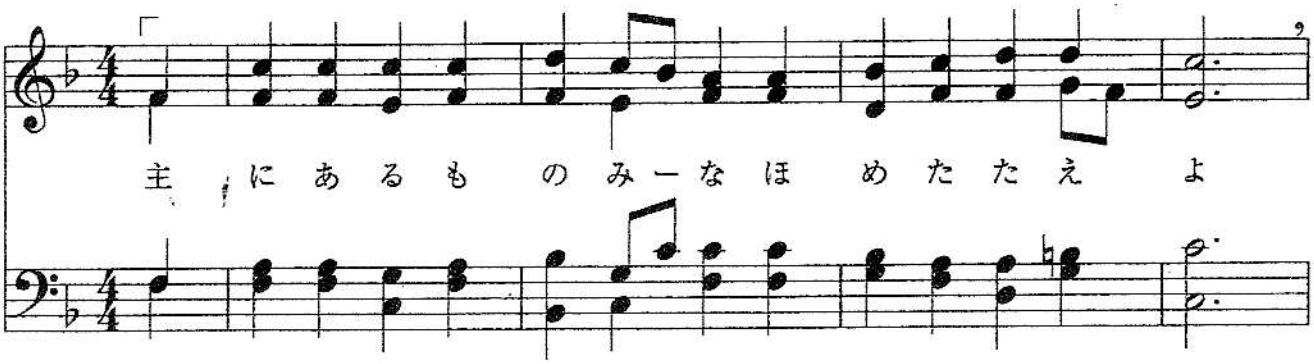
4. み使いの歌う 新しき歌は
鐘の音ともに 大空にひびく
詩と讃美のうた 天地こぞりて
永遠に 歌いゆかん

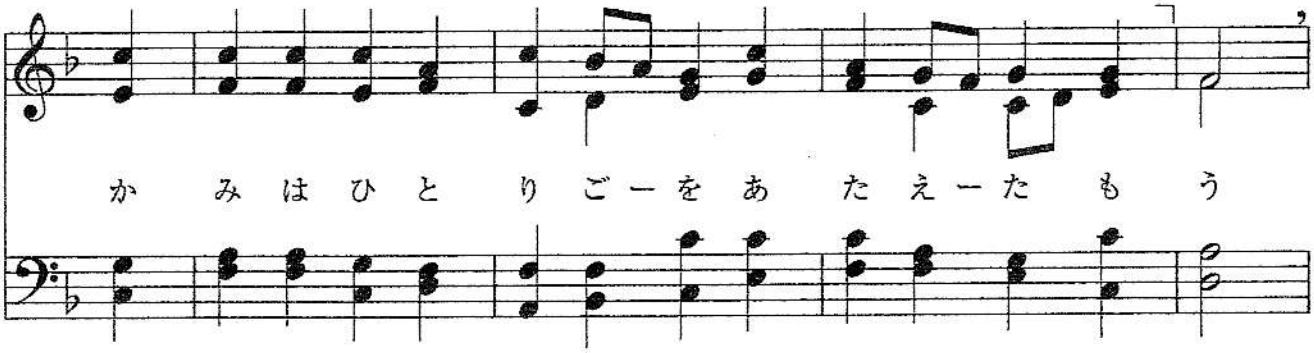
Tr. © 2003 日本バプテスト連盟

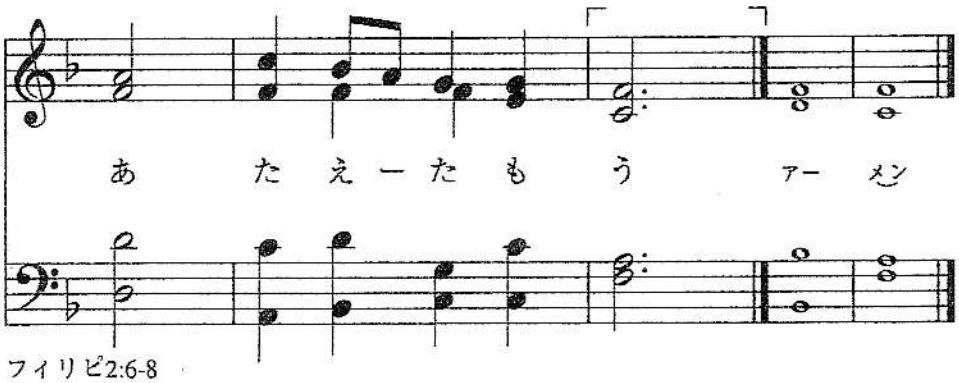
188 主にあるものみなほめたたえよ

Lobt Gott, ihr Christen alle gleich
Nikolaus Herman, 1560

LOBT GOTT, IHR CHRISTEN
Nikolaus Herman, 1554







フィリピ2:6-8

86 86 (CM) with Repeat

1. 主にあるものみな　ほめたたえよ
神は独り子を　与えたもう
与えたもう

2. み座より来たりて　まぶねに伏す
貧しく小さき　幼な子なり
幼な子なり

3. われらの主イエスは　栄えを捨つ
この地にしもべの　姿とりて
姿とりて

4. われらをみ国へ　神は招き
み子人となれる　この不思議さ
この不思議さ

5. 神のみ子イエスは　しもべとなり
われを神の子と　なしたもうとは
なしたもうとは

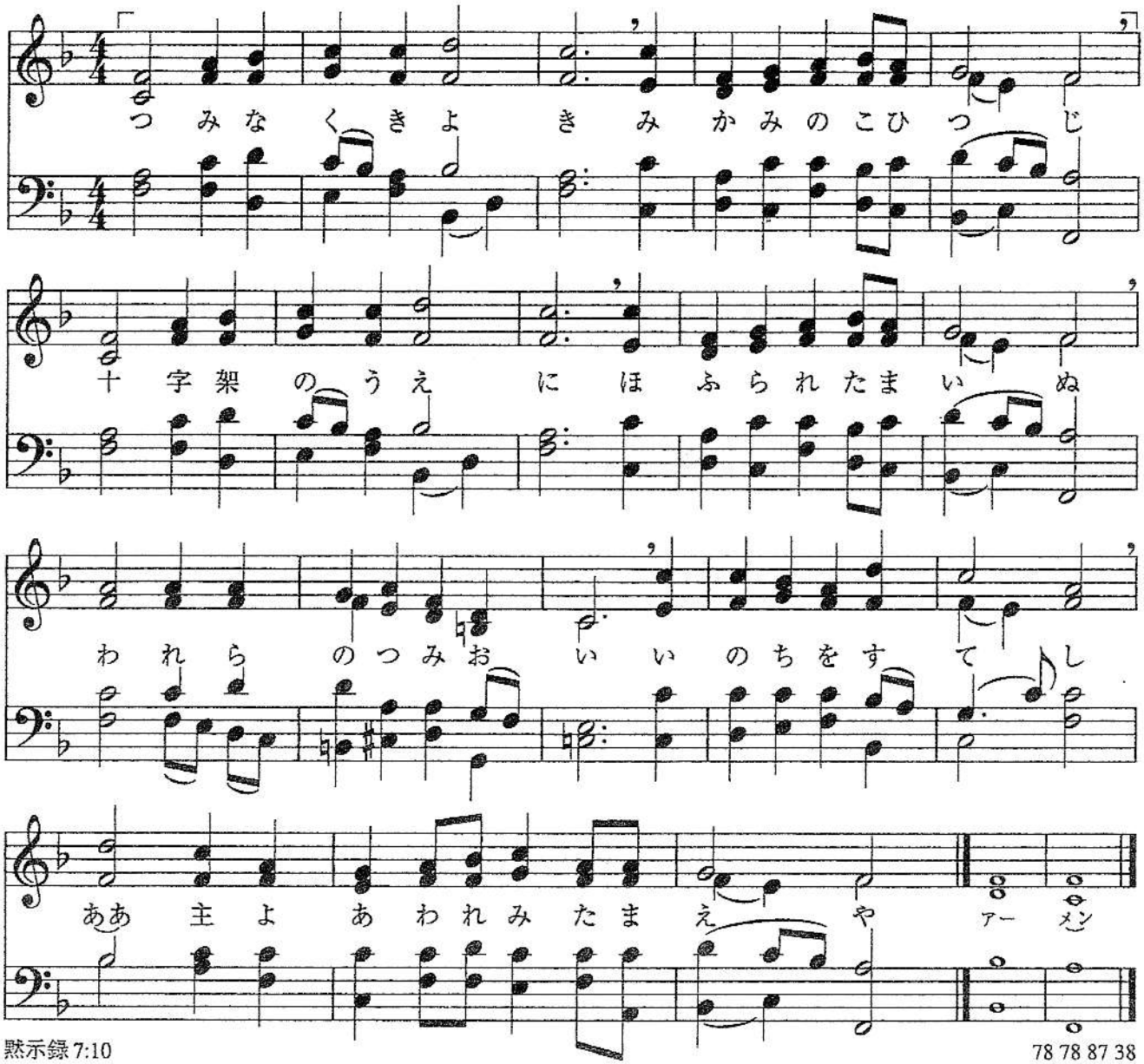
6. 主はみ国の戸を　いま開けり
いざほめたたえよ　主なる神を
主なる神を

Tr. © 2003 日本バプテスト連盟

226 罪なくきよき

O Lamm Gottes, unschuldig
Nikolaus Decius, c. 1523

O LAMM GOTTES, UNSCHULDIG
Nikolaus Decius, c. 1523



黙示録 7:10

78 78 87 38

1. 罪なくきよき　み神の小羊
十字架の上に　ほふられたまいぬ
われらの罪負い　いのちを捨てし
ああ主よ憐れみたまえや

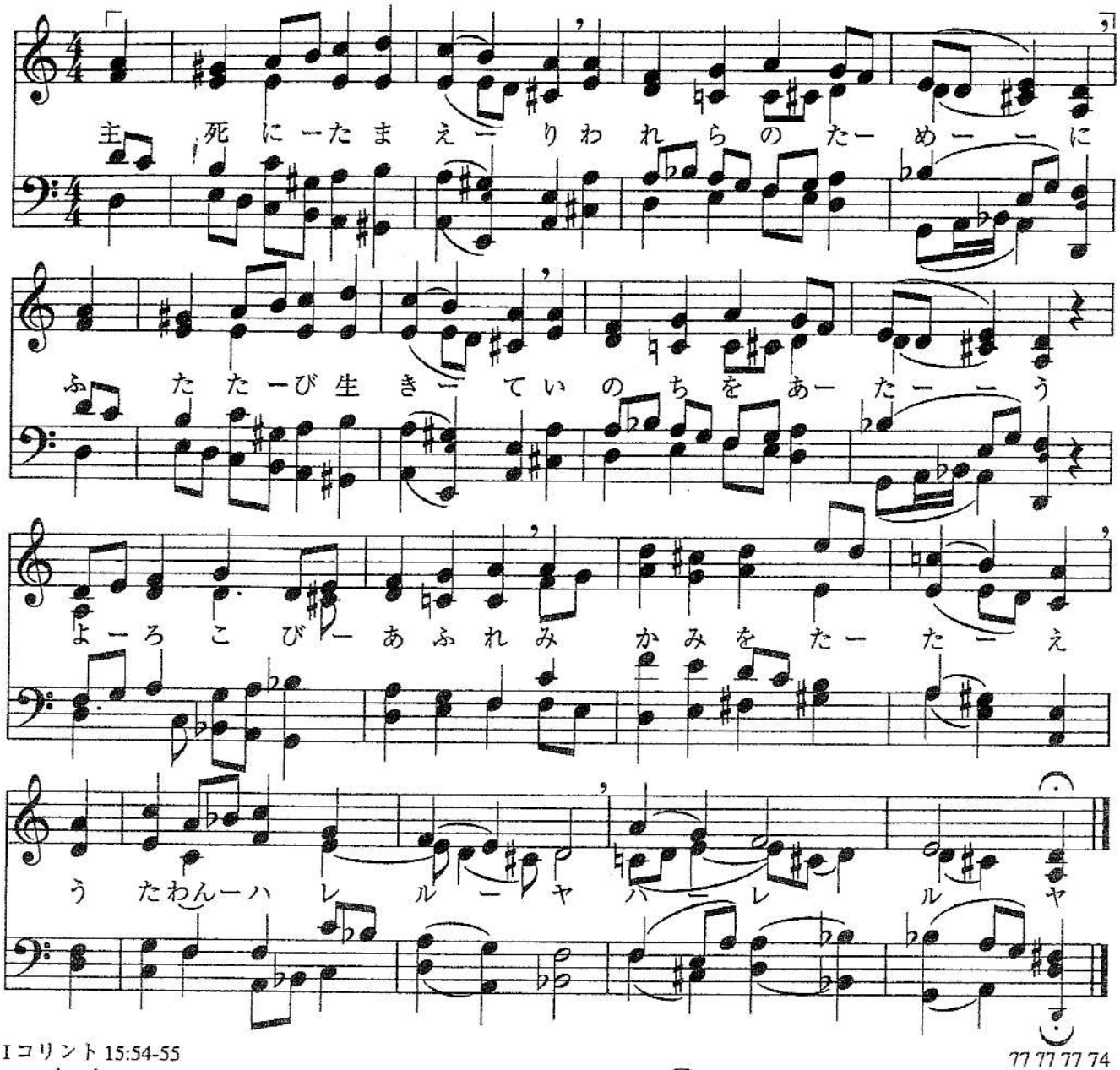
2. 罪なくきよき　み神の小羊
十字架の上に　ほふられたまいぬ
われらの罪負い　いのちを捨てし
ああ主よ平和を賜えや

Tr. © 2003 日本バプテスト連盟

238 主死にたまえり

Christ lag in Todesbanden
Martin Luther, 1524

CHRIST LAG IN TODESBANDEN
Geistliche Gesang Büchlein, 1524
Adapt. Johann Sebastian Bach



Iコリント 15:54-55

77 77 77 74

1. 主死にたまえり　われらのために
再び生きて　いのちを与う
喜びあふれ　み神をたたえ
歌わんハレルヤ　ハレルヤ

2. いのちと死との　争いなりき
いのちは勝ちて　死はいま失せぬ
み書は記す　「死は死を呑みて
死の刺は無し」　ハレルヤ

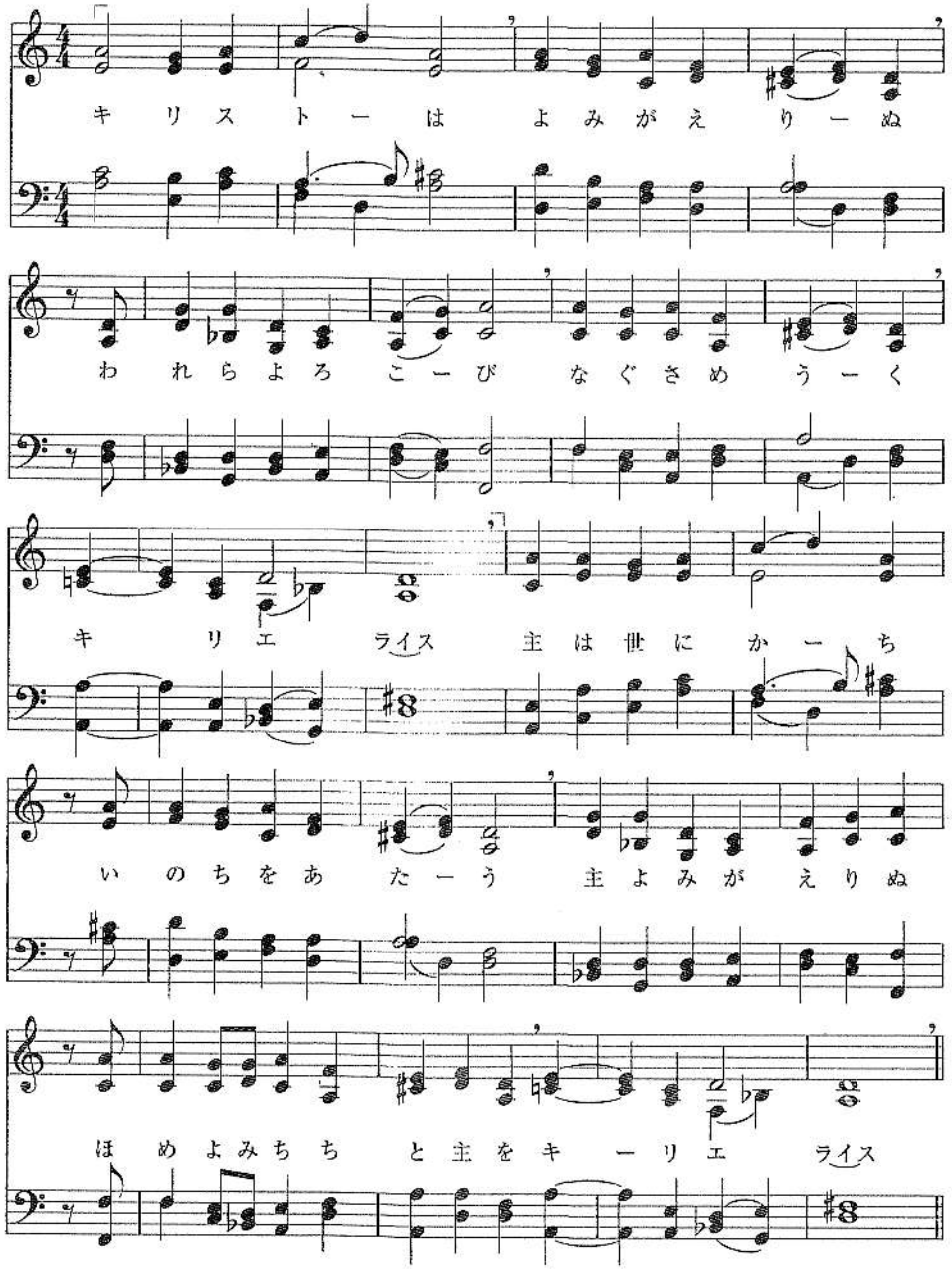
3. 十字架の上の　贄なる羊
その死によりて　救いは来たる
尊き血しお　門べに塗られ
死は過ぎ去りぬ　ハレルヤ

4. 喜びあふれ　この日を祝わん
光のみ子は　われらを照らす
恵みの光　こころに満ちて
罪の夜明けぬ　ハレルヤ

239 キリストはよみがえりぬ

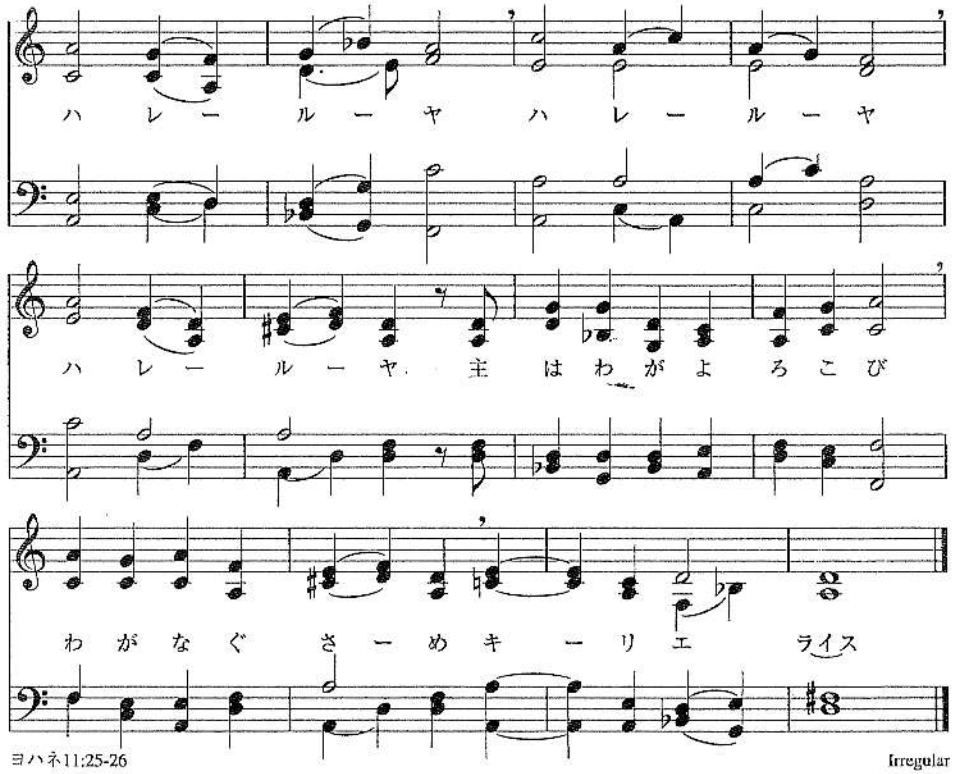
Christ ist erstanden
Tr. Michael Weisse, 1531

CHRIST IST ERSTANDEN
German melody, 12th cent.



Tr. © 1999 日本バプテスト連盟

BWV627・バプテスト教会新生讃美歌



ヨハネ11:25-26

Irregular

キリストは　よみがえりぬ
われら喜び　慰め受く

キリエライス
主は世に勝ち　いのちを与う
主　よみがえりぬ
ほめよみ父と主を　キリエライス

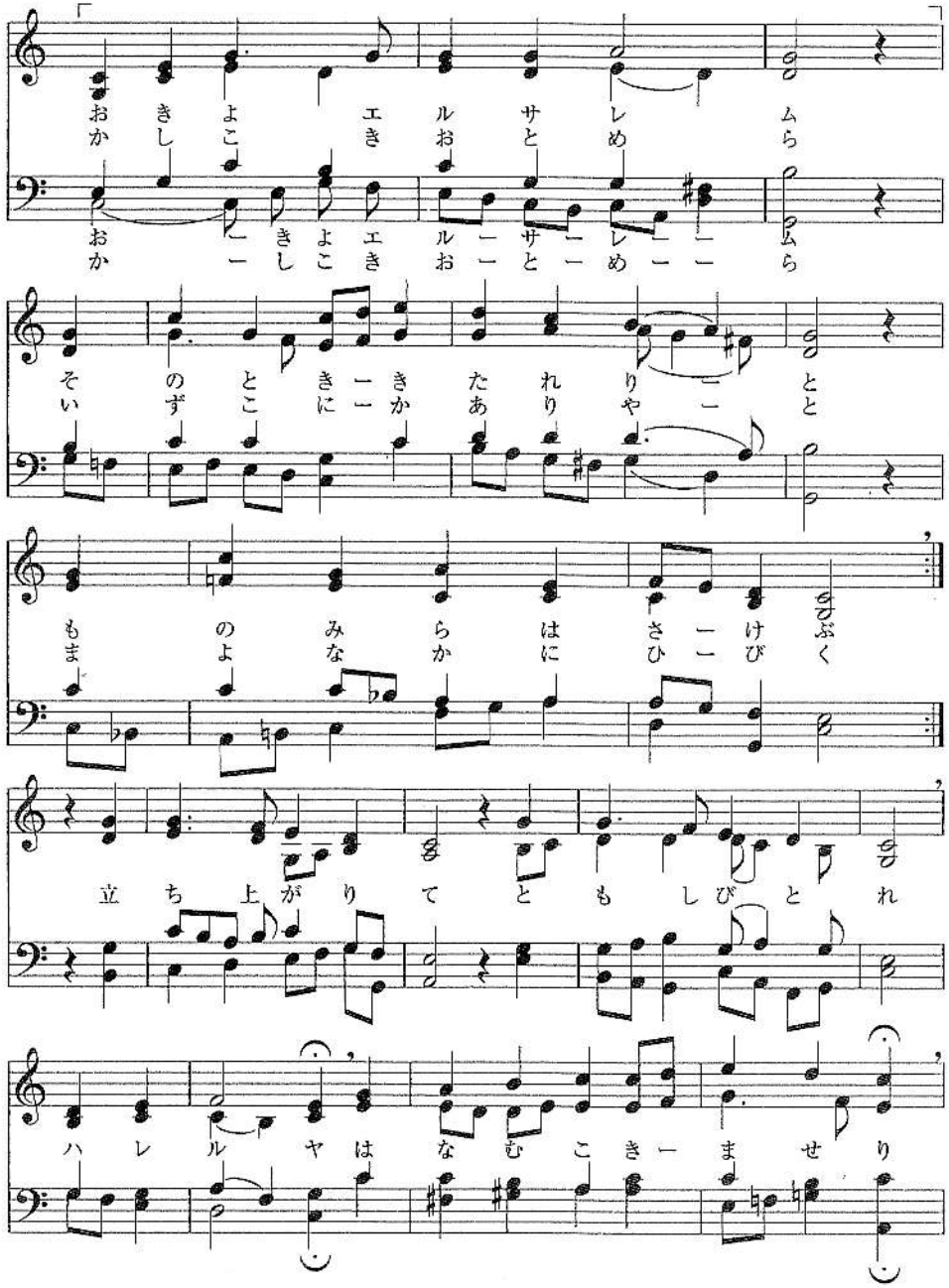
ハレルヤ　ハレルヤ　ハレルヤ
主はわが喜び　わが慰め　キリエライス

※「キリエライス」は「キリエ・エレイソン」（主よ、あわれみたまえ）と同じ意味

257　起きよ　エルサレム

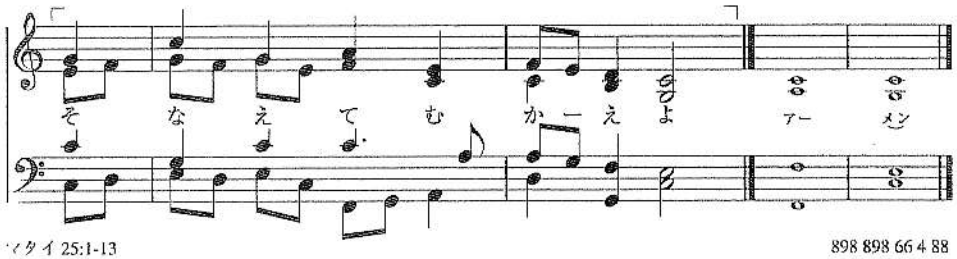
Wachet auf! ruft uns die Stimme
Philipp Nicolai, 1599

WACHET AUF
Philipp Nicolai, 1599


おきよ　エルサレム
かしこき　おとめら
おーきよ　エルーサーレーム
かーしこき　おーとーめーら
そのときーきたれりーと
いずこにーかありやーと
ものみらはさーけぶ
まよなかにひーびく
立ち上がりてともしびとれ
ハレルヤはなむこきーませり

Tr. © 1999 日本バプテスト連盟

BWV645・バプテスト教会新生讃美歌


そなえてむかーえよ
アーメン

マタイ 25:1-13

898 898 66 4 88

1. 「起きよ　エルサレム　その時来れり」と
ものみらは叫ぶ
「賢き乙女ら　いずこにかありや」と
真夜中に響く
立ち上がりて　ともし火取れ
ハレルヤ　花婿来ませり　備えて迎えよ

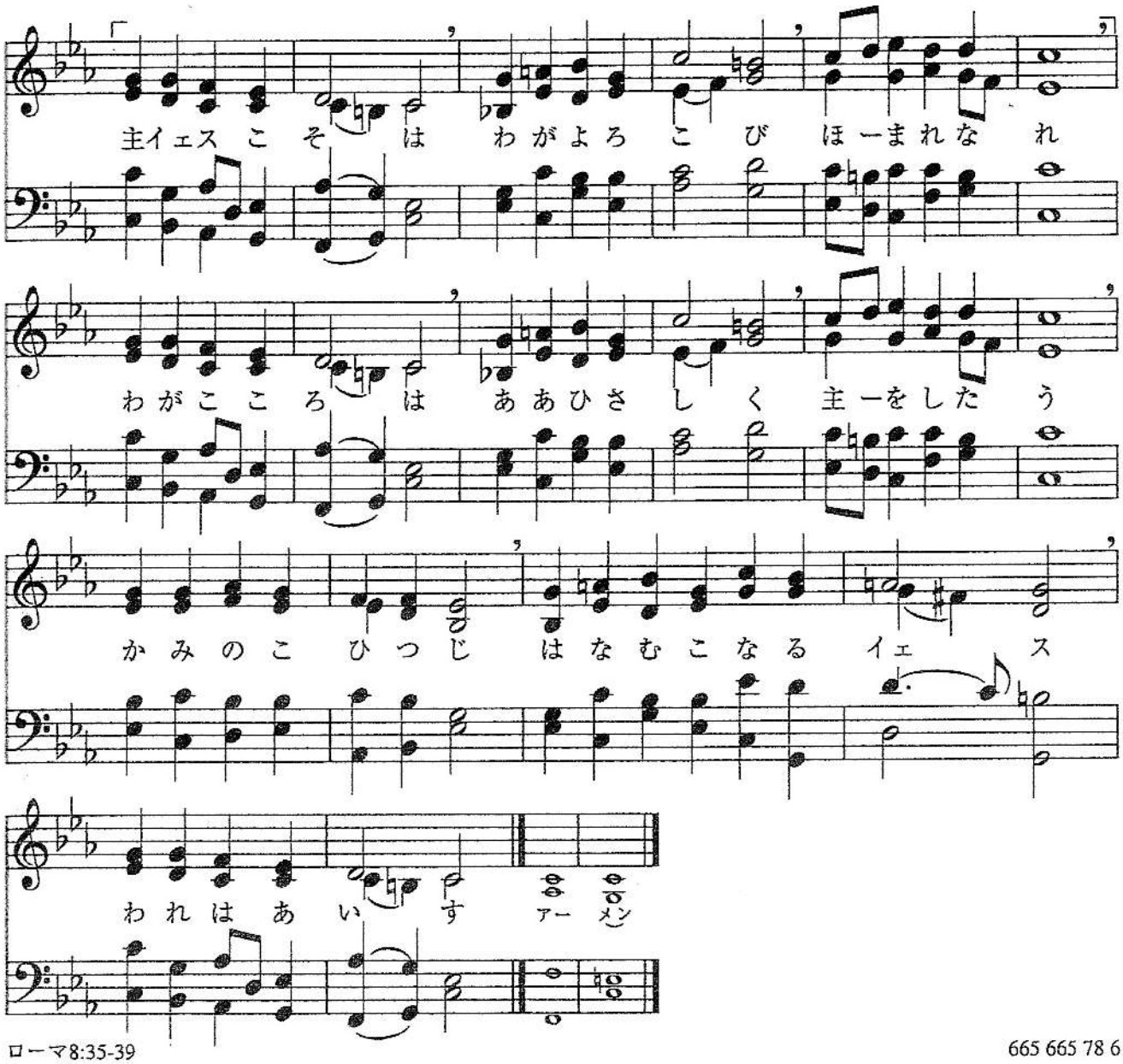
2. ものみらの歌に　シオンは目をさまし
急ぎ起き立ちぬ
月星輝き　恵みとまこと満ち
喜び溢れる
いざ来れよ　イェス神の子
ホザンナ　祝いの宴を　いざや分かち合わん

3. み使いと共に　「誉れ神にあれ」と
高らかに歌え
み座を取り囲む　天使らに合わせて
竪琴を鳴らせ
驚くべきこの喜び
たたえよ　ハレルヤ絶えせず　主に向かい歌わん

314 主イエスこそはわが喜び

Jesu, meine Freude
Johann Franck, 1653

JESU, MEINE FREUDE
Johann Crüger, 1653



ローマ8:35-39

665 665 78 6

1. 主イェスこそは わが喜び 誉れなれ
わが心は ああ久しく 主を慕う
神の小羊 花婿なるイェス
われは愛す

2. 主のみ翼 われをおおい 守りたもう
罪の力 世に吹き荒れ せまるとも
主は共にまし 群がる悪より
放ちたまわん

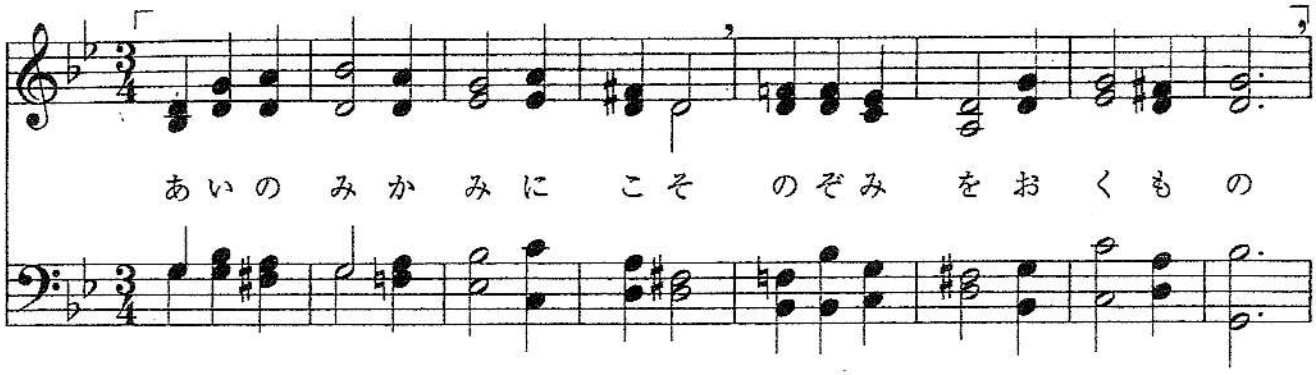
3. 悪しき力 死の恐れぞ 世に満つる
静まれ地よ 神の力 はたらきぬ
主の平安に われここに立ちて
歌い続けん

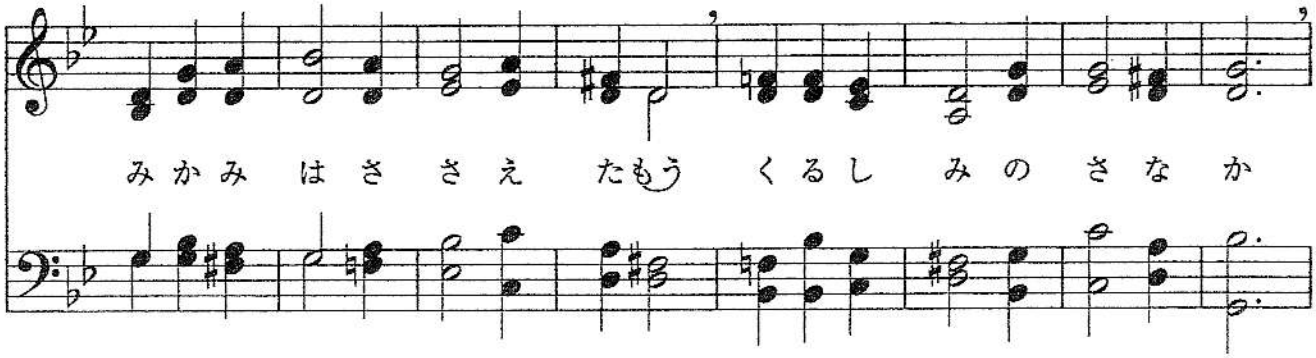
4. 憂いよ去れ 喜びの主 今来る
主にありては 悲しみさえ 喜びぞ
責めと謗りと われを囲むとも
主は喜び

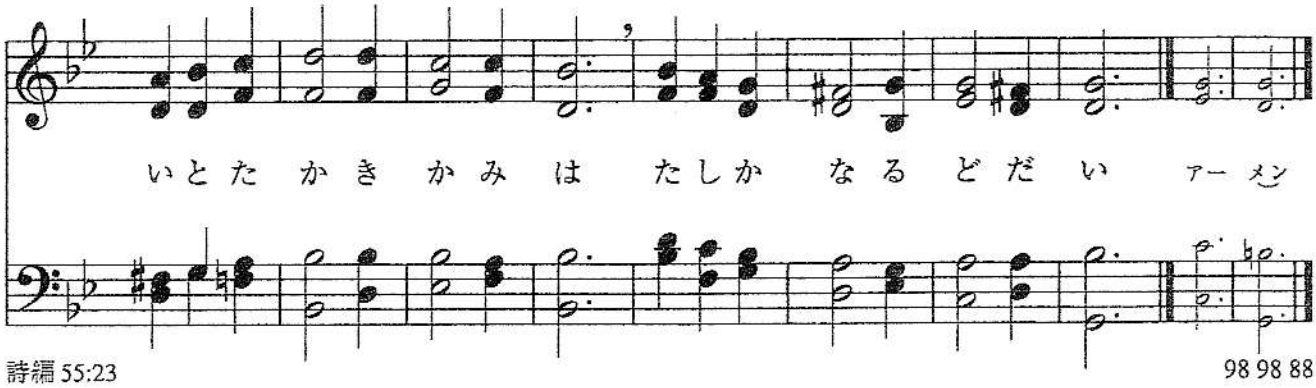
434 愛のみ神にこそ

Wer nur den lieben Gott läßt walten
Georg Neumark, 1641

NEUMARK
Georg Neumark, 1657







詩編 55:23

98 98 88

1. 愛のみ神にこそ　のぞみを置く者
　み神は支えたもう　苦しみのさなか
　いと高き神は　確かなる土台

2. たれかしらわれらを　救い出しうるや
　朝ごとに悲しみ　嘆きを増せども
　嘆き悲しみは　われらを救わじ

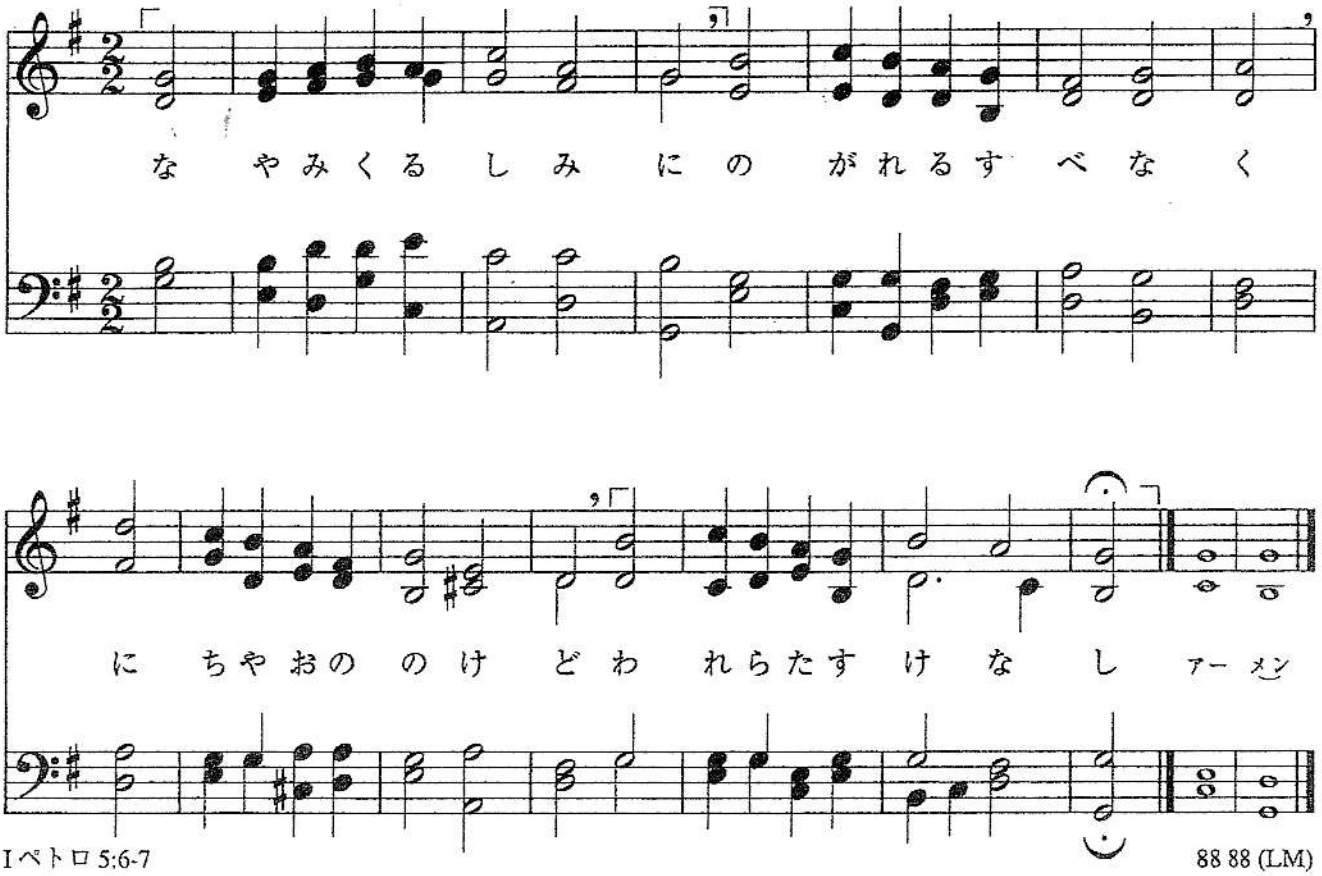
3. 静まりて主を待ち　み神を喜べ
　われらをば選びし　恵みのみ神は
　われらの悩みを　ことごと知りたもう

4. 主に向かい歌いて　祈りをささげよ
　祝福を求めて　まことに励まば
　主に頼るものを　み神は忘れじ

439 悩み苦しみに

Wenn wir in höchsten Nöten sein
Joachim Camerarius, 1546
Tr. Paul Eber, 1566

WENN WIR IN HÖCHSTEN NÖTEN SEIN
Guillaume Franc, 1543
Arr. Johann B. Serranus, 1567



Iペトロ 5:6-7

88 88 (LM)

1. 悩み苦しみに　逃れるすべなく
日夜おののけど　われら助けなし

2. 共に集まりて　まことのみ神に
救いを求めて　祈るは慰め

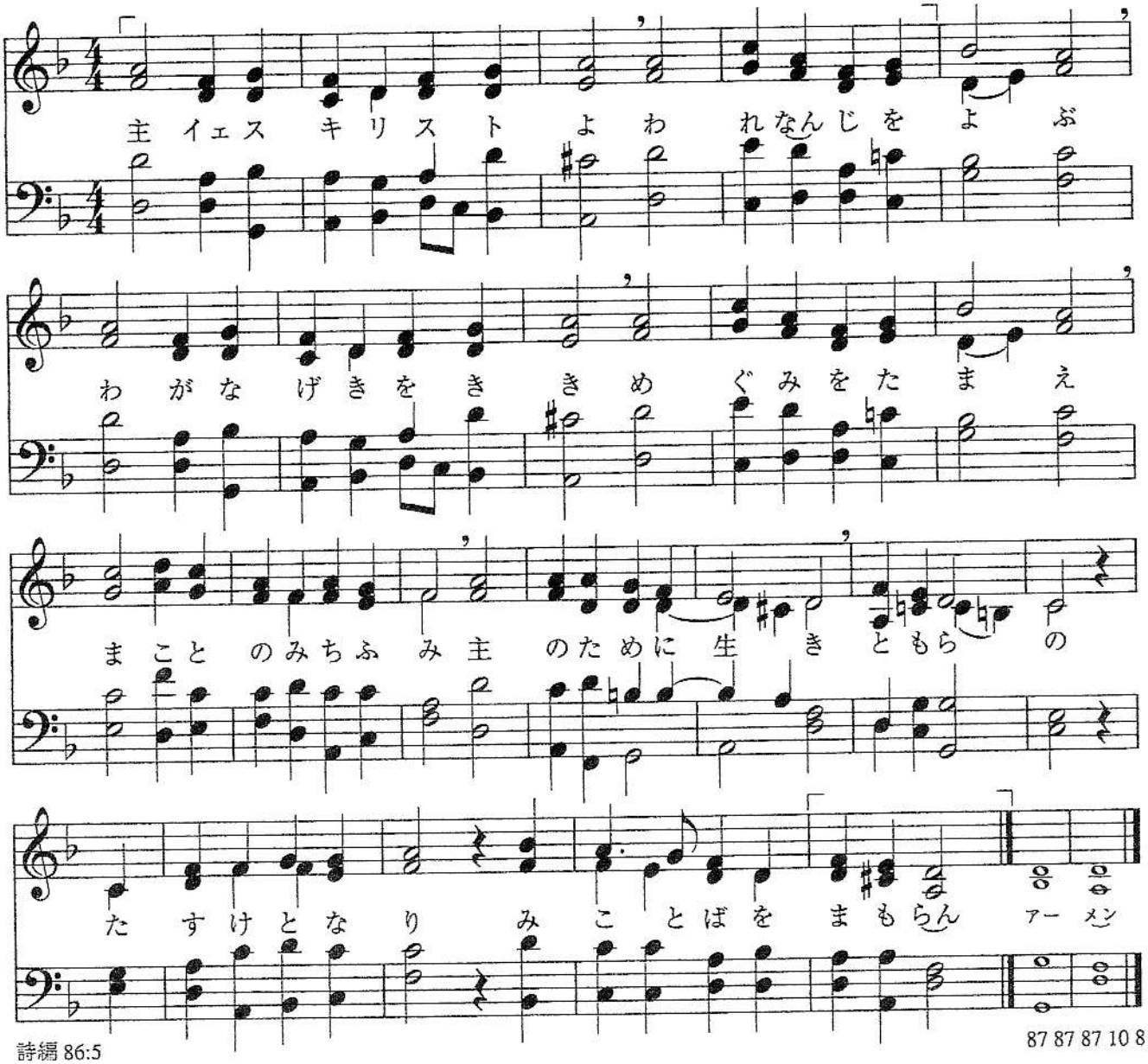
3. われら目を挙げて　み神にぞ祈る
恵みと赦しを　悔いと痛みもて

4. われらをとりなし　救いを賜える
神の子主イエスの　み名にこそ頼まん

564 われなんじを呼ぶ

Ich ruf zu dir, Herr Jesu Christ
Johann Agricola, c.1526

ICH RUF ZU DIR
Geistliche Lieder, Wittenberg, 1533



詩編 86:5

87 87 87 10 8

1. 主イエスキリストよ　われなんじを呼ぶ
わが嘆きをきき　恵みをたまえ
真理の道ふみ　主のために生き
友らの助けとなり　み言葉を守らん

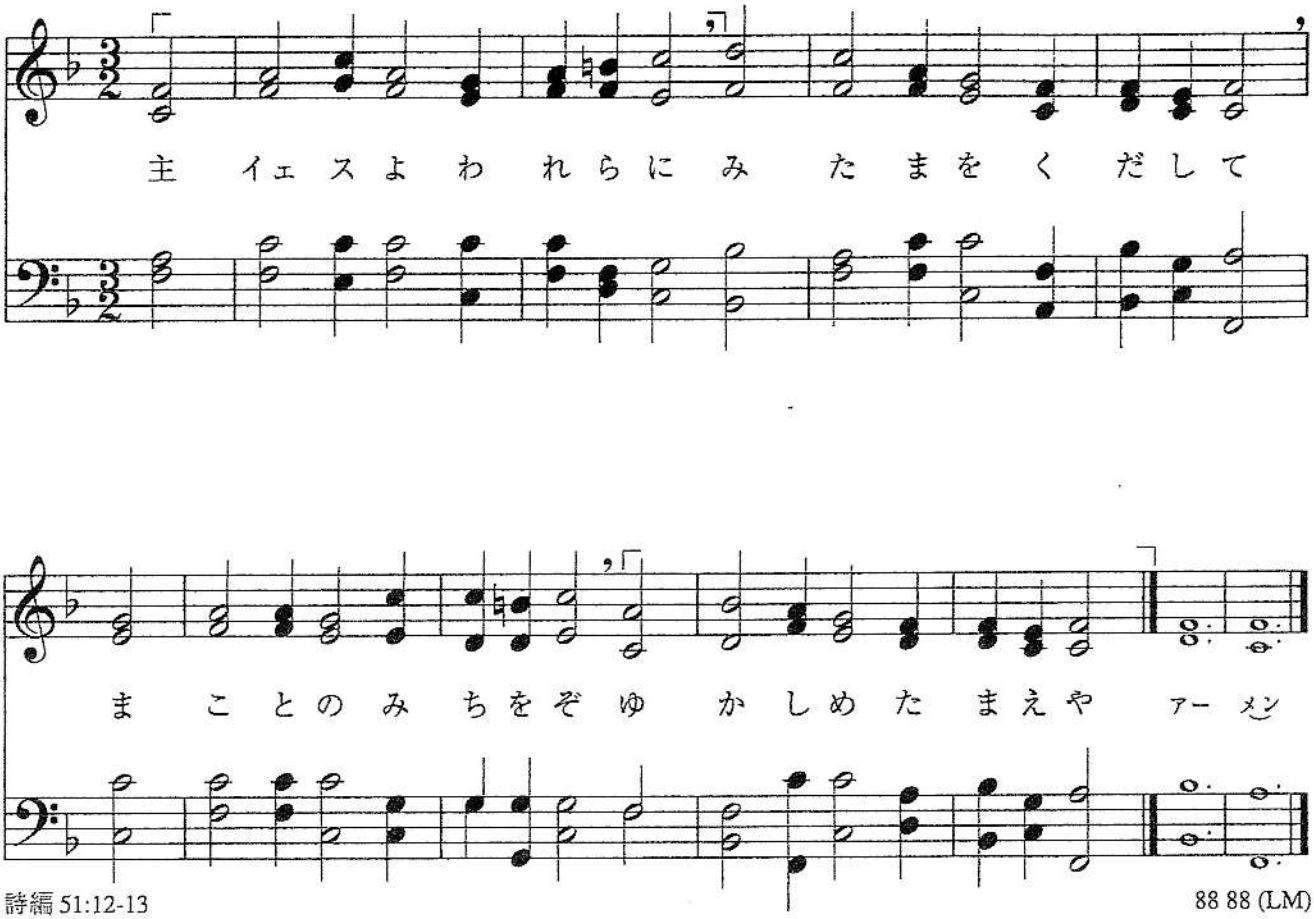
2. 主よ助けたまえ　敵をも愛す
新しきいのち　われにたまえや
み言葉は常に　心の支え
よき日も悪しき時も　主よ守りたまえ

3. この世の恐れの　迫りくるとも
終りまで仕えん　導きの下
主統べ治めまし　われらを救い
豊けき祝福もて　生命をぞたもう

573 主イエスよわれらに

HERR JESU CHRIST, DICH ZU UNS WEND
Gochsheim, Redwitz, 1628
Arr. Gotha, 1651

Herr Jesu Christ, dich zu uns wend
Wilhelm II. von Sachsen-Weimar, 1648



詩編 51:12-13

88 88 (LM)

1. 主(しゅ)イエスよわれらに　聖霊(みたま)を降(くだ)して
真理(まこと)の道(みち)をぞ　行(ゆ)かしめたまえや

2. 君(きみ)をほめたたえ　祈(いの)りにぞ備(そな)えん
思(おも)いを深(ふか)めて　み旨(むね)に近(ちか)づかん

3. 君(きみ)にまみゆる日(ひ)　喜(よろこ)びにあふれ
み使(つか)いと共(とも)に　われらほめ歌(うた)わん

4. 父(ちち) み子(こ) 聖霊(みたま)に　み栄(さか)えあれかし
ひとりのみ神(かみ)を　永久(とわ)にほめまつらん